

井端設計道場

2025



井端設計道場は建築家・井端明男を道場師範として、住宅の設計施工を仕事とする地域工務店の設計者の「設計力」を鍛えることを目的として2022年1月よりスタートしました。「井端設計道場2024」は北海道の実績を踏まえて井端メソッドを伝えることで北海道の工務店を中心に開催されます。

井端設計道場は一泊二日を基本とする。第一日目に現実の設計条件が用意された敷地を視察、二日目の午前中に手描きのスケッチをA3一枚に制作する。午後、全員の発表と講評を行う。このスピードは実際の仕事と同じ時間的な制約の中で行われることにある。また、道場師範・井端も道場生と同じ条件の元で「即日設計」を行う。道場生と同じ立場、同じ視点で設計する。従って、その講評は的確にして厳しいものとなる。

北海道は歴史も浅く、住宅に関しては守るべき伝統もなく自由である。ただ寒冷地という地域特性を理解し設計することが基本である。現在寒冷地の建築技術は確立され、断熱、気密工法に裏付けられた開放的空間が可能になり、設計の自由度は向上している。

住宅設計は家族と暮らしを守り、豊かな日常を送る為の場所作りだと認識している。その為の整理として地域環境を理解し、地域との繋がりも重要である。「持ちつ持たれつ」の良好な関係を築く配慮は積雪地では必要であり地域の空気を変える力にもなる。

私にとって設計は、クライアントの要望に対し独自の感性で応えるべきと思っている。将来を見据えた提案をし、イメージを共有する、そして竣工までのプロセスを楽しむ。私の理想とする住宅づくりである。

< 秋山師範の言葉 >

設計とは、「知る」ことでも「分かる」ことでもない。それは、あくまでも「身に付ける」こと。武道と同じく、修業することなのである。その場として本道場がある。

開催スケジュール

18日

13時に札幌駅北口に集合し、建物と課題敷地を見学。夜は懇親会を行います。



28日

午前中は課題設計、午後から発表と講評。終了は17時前後です。



井端 明男

いばた あきお
1949年 北海道共和町出身
北海道産業短期大学卒業後70年に上京
住宅を中心とした事務所を転々と歩き建築の魂を授かる76年札幌に戻る。
91年アトリエアーク改組時に取締役として参加 公共建築にスタンスを置き活動を始める。全道に残した公共建築は300件以上 2018年退職。
現在はフリーランスの建築家として、若手の育成に努めている。

日本建築家協会会員(JIA)/子ども環境学会会員

1996年 建築学会 北海道建築賞 ふれあいの森 シーサイド余別
2004年 JIA北海道支部住宅部会 アカンア賞 ニセコ町「本通りA団地」
2006年 第2回子ども環境学会賞 デザイン奨励賞 剣淵町「絵本の館」
2007年 JIA北海道支部住宅部会 ハルニレ賞(大賞) 「グレイ山荘」
2010年 第12回公共建築賞 優秀賞 剣淵町「絵本の館」
2012年 第15回木材活用コンクール 農林水産大臣賞 津別町「さんさん館」
2012年 北海道赤レンガ建築奨励賞 剣淵町学童保育施設「つちの子館」
2013年 北海道赤レンガ建築賞 環境省 上士幌「ひがし大雪自然館」
2018年 北海道赤レンガ建築奨励賞 白糠町「白糠町立庶路学園/庶路こども園」
個人受賞、作品受賞も含む



開催日程 2025年1月～11月(毎月1回開催)

1月	1/30(木)・31(金)	7月	7/ 3(木)・ 4(金)
2月	2/20(木)・21(金)	8月	8/ 7(木)・ 8(金) 秋山設計道場と同時開催
3月	3/ 6(木)・ 7(金)	9月	9/ 4(木)・ 5(金)
4月	4/ 3(木)・ 4(金)	10月	10/ 9(木)・10(金)
5月	5/ 7(水)・ 8(木)	11月	11/ 6(木)・ 7(金)